

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

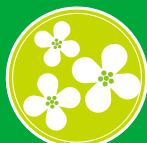
2013
平成25年

8.15

ひとときの
涼を求めて!

目次

「しみんの広場」	2
米国ジョージタウン市との海外交流	
地元農産物を活用した簡単レシピ	
今月の渥美半島の花	
地域の話題	
市民活動を応援するページ	
スクールリポート	6
学校生活の一コマを紹介	
たはらしティニュース	7
連載コーナー	8
おしらせ	10
歴史探訪クラブ	12



しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- ジョージタウン市との海外交流……………2ページ
- 簡単レシピ 今月の渥美半島の花……………3ページ
- 地域の話題(大草校区)……………4ページ
- 市民活動を応援するページ……………5ページ

米国ジョージタウン市との海外交流

学校発!

田原市の姉妹都市である米国ケンタッキー州ジョージタウン市から、6月4日から14日までの11日間、中学生8名と引率者2名が田原市を訪れました。学校生活や家庭生活を体験しながら、交流を深めた様子をご紹介します。



● 田原市の凧づくり文化を体験



● ウェルカムパーティーで自己紹介する生徒



● 部活動で剣道を習う生徒



● 日本の文化「書道」を体験

訪問団一行は、市内のホストファミリー宅に滞在し、日本での学校生活を体験しました。

今回、生徒たちは『**心ツアー**』を合い言葉に各中学校に通い、「英語」をはじめほとんどの授業を、市内の中学生と緒に受けました。書道の授業では、筆の柔らかな感触と思いどおりにならない筆運びに苦戦しながらも、出来上がった作品に感激した様子でした。会話をしながら給食を食べたり、部活動でもクラスのみんなと交流したりするなど、楽しい思い出がたくさんできたようです。

また、田原市の自然文化・産業への理解を深めるため、市内観光を行いました。観光名所の伊良湖岬灯台やサンテパルク তারা、田原まつり会館、そしてトヨタ自動車田原工場などを訪れました。恋路ヶ浜へ向か

う車中の高台から太平洋の雄大な風景を目にし、思わず歓声が上がっていました。

ウェルカムパーティーには、大勢の方が参加し、姉妹都市の交流を図りました。訪問団一行は、ホストファミリーの紹介を日本語で行い、会場を盛り上げました。田原市の中学生らも、並んだ料理を英語で説明するなど、それぞれにコミュニケーションを楽しんでいました。

また、引率の先生は、田原市長を表敬訪問。その後、生徒らがお世話になった中学校を訪ねました。引率の先生からは、交流の記念にとそれぞれの学校に対し、学校名が刻まれた木製のバットが贈られました。



● 交流記念として贈られたバット



● 滞在中、家庭生活体験でお世話になったホストファミリーの皆さんと一緒に記念撮影

地元農産物を活用した

簡単レシピ

平成24年度に実施した「地元農産物を活用した加工品・料理コンテスト」で入選した簡単レシピを紹介します。今回は「トマト」を使ったレシピをお届けします。

トマトのヨーグルトムース

材料:5人分

- トマト 5個(果汁用2、敷き詰め用3) ● 生クリーム 100ml
- ヨーグルト 200g ● レモン汁 レモン1/2個分
- はちみつ 大さじ1 ● 粉ゼラチン 5g
- 砂糖 60g(好みで調節) ● 卵白 卵1個分 ● ミントの葉 適量

作り方

- ① 粉ゼラチンを水でふやかしておく。
- ② 卵白に砂糖を少しずつ加えながら、しっかり泡立ててメレンゲを作る。
- ③ 生クリームを8分立てにする。
- ④ トマト2個を絞って果汁を取り出し、レモン汁を加える。さらに、ヨーグルト、はちみつを混ぜ合わせる。
- ⑤ ①のゼラチンを少量のお湯で溶かし、少しずつ④に加えて混ぜる。
- ⑥ ③の生クリームを3～4回に分けて⑤に加え、全体をしっかりと混ぜる。
- ⑦ ②のメレンゲを3～4回に分けて⑥に加え、気泡をつぶさないようにやさしく混ぜる。
- ⑧ トマトをさいの目切りにして器の底に敷き詰める。その上に⑦を流し入れ、冷蔵庫で冷やし固める。
- ⑨ ムースが固まったら、ミントの葉、お好みでホイップクリームやフルーツなどを飾る。



加工品の部 優秀賞

9月

今月の渥美半島の花～グロリオサ～

グロリオサ(切花/出荷時期:通年)

【花言葉】…栄光、頑強、勇敢

鮮やかな花色と、波打つように反り返った花びらが特徴的なこの花は、アフリカ、熱帯アジアが原産の花です。

ラテン語で「栄光の」「見事な」(グロリオサス)という意味の花名を持ち、花ことばもそれに由来します。半ツル性で、長く伸びた葉の先端を巻き付けるように伸びていくことから「climbing lily(クライミング・リリー)」「登るユリ」の英名があります。花色は赤、黄、ピンクの他、最近では白も加わりました。田原市では、年間約90万本が出荷されており、県内1位の生産量を誇っています。





▲餅つきを行う大草保育園の園児たち



▲正月用のしめ縄作りの様子

地域の話題

大草校区

伝統文化・技術の継承と学びの場

豊かな自然を大切にし、「一つの大きな家族のように支え合って大きな輪となり、人の和で安心・安全に暮らせるまちづくり」を目指す、大草コミュニティ協議会からお便りが届きました。

学びの場「ふれあい工房」

大草市民館の駐車場南にこぢんまりとした建物があります。これは平成11年度に建てられた「ふれあい工房」で、ここからさまざまな文化が発信・継承されています。



●ふれあい工房

歴史のある「わら工芸教室」

40年以上の歴史のある「わら工芸教室」では、正月用しめ縄作り、お祝いの宝船、毎年の干支の作品などを作っています。もちろん、わらは大草産の稲わらです。できた作品は

大草の粘土を使う「陶芸教室」

大草市民館まつりに展示するほか、福祉のつどいにバザー協力品として提供しています。メインは正月用しめ縄作りで、若い世代に継承して欲しいという願いを込め、毎年12月にしめ縄作り教室を開いています。近年では、シエルマよしごなど各方面から講師依頼があり、田原市全域へと活動を広げています。

大草は昔から焼き物の盛んな地域でした。今から約1000年前の古窯が校区内にいくつも残っています。中でも惣作古窯跡から出土した「ざれ歌碗」は市有形文化財に指定されています。

そんな伝統を受け継ぐ「陶芸教室」では、年に約4回、作品を完成さ

昔ながらの「餅つき会」

このほか、工房自体を使った行事としては保育園の保護者会が中心となつて行う「餅つき会」があります。熟友会（老人会）の皆さんの指導を受け、石臼ときねを使い、昔ながらの餅つきを行っています。

若い保護者の皆さんは、園児たちと一緒に餅つきを体験します。皆で和気あいあいとした、できたてのお餅のおいしさは格別です。

これらの三つの活動は、大草の自然の恵みや温かな人とのふれあいかから生まれた大草校区の財産です。これからも若い世代へと継承していきたいです。



●陶芸教室



市民活動を応援するページ



市民活動紹介

ラ ラ カ
lalaka

～ママのための癒しの時間をどうぞ～

子育て中のママが楽しく時間を過ごし、生活にゆとりを持てるような環境を作るために活動を始めました。「lalaka (ララカ)」という名前はハワイの言葉で「太陽、癒しの女神」という意味。太陽のように暖かい癒しの時間や場所を提供できればと思い、グループにこの名前を付けました。

片西町のカフェの店内をお借りして、おもちゃやベビーベッドを備えたキッズカフェを開放し、元保育士や現役ママのスタッフが一緒に過ごします。カフェに来たママさんたちの、子育ての不安や悩みなどに共感できる話し相手となれるように活動しています。

子育て中のママさん、私たちと一緒に癒しの時間を過ごしませんか。



▲子育て中のママの話に耳を傾けるメンバー

活動日 ● 毎週火・水・木曜日 午前10時～午後2時30分

場所 ● 「Cheers! ちあーす!」(片西2-63)

お問い合わせ

代表 佐藤直加 ☎ 23局 0448 (活動場所の電話番号)

市民提案

あなたの活動に補助金をご活用ください!

「市民協働まちづくり事業補助金」

地域づくり、清掃活動、福祉活動など、公共性の高い活動を行う市民活動団体を支援する補助金です。あなたの自由で創意工夫あふれる市民活動をさらに活発にするため、みんなでまちづくりを進めるため、補助金をぜひご活用ください。

●対象事業 市内で実施、また市民に対して実施される事業で、公共性・公益性の高い活動(福祉、まちづくり、環境保全、子どもの健全育成など)で、平成26年2月末日までに完了するもの

●対象団体 市内で公益活動を行う5名以上で構成された団体

●申請方法 市民協働課で配布する提案用紙に必要事項を記入して直接または郵送にて。申請書は市ホームページからもダウンロード可(<http://www.city.tahara.aichi.jp/>)

※補助金の応募方法、申請書の書き方に関するご相談は、市民活動支援センターで随時受け付けています。お気軽にご相談ください。

●募集概要

事業費	補助額	募集期間	選考方法
事業費10万円以上のもの	事業費の2分の1 (上限20万円)	9月26日(金)まで ※午後5時必着	書類審査、公開審査会(プレゼンテーション審査) ※予算の範囲内で選考結果順
事業費10万円未満のもの	事業費の2分の1 (5万円未満)	平成26年1月31日(金)まで ※随時募集	書類審査、市役所関係部署との協議 ※予算の範囲内で先着順

●応募・お問い合わせ 市民協働課 ☎ 23局3504 ☎ 23局0180 ✉ kyoudou@city.tahara.aichi.jp



田原市民活動支援センター

<http://www.city.tahara.aichi.jp/kyoudou/>

■ NPOや市民活動に関する相談を受け付けています。(毎週 月・火・水 14:00～19:00 田原文化会館フリースペース)

■ このページおよび市民活動支援センターホームページに掲載する市民活動情報を募集しています。

● お問い合わせ: ☎ 22局 1111 (内線812) ※開設時間のみ ☎ 23局 0180 ✉ shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp



スクールレポート

SCHOOL REPORT 61

学校生活の
一コマを紹介

今回は、小学校での「夢の教室」と「ボディボード体験学習」の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局 3679

田原中部小学校「夢の教室」

絶対にあきらめない「強い心」を

今年度、田原市内の5年生の教室に、プロの選手やそのOBなどが“夢先生”として来校し、ゲームとトークの90分間の授業をする「夢の教室」が開催されています。

田原中部小学校には、元メジャーリーガー（ロイヤルズなどに所属）のマック鈴木さんと、元Jリーガー（ジェフ市原に所属）の式田高義さんに来ていただきました。

約30分のゲーム（仲間と協力して課題を解決する活動）では、子どもたちと一緒に夢先生も汗を流し、作戦を考えました。トークの時間では、マック鈴木さんが「努力し続けることで、周りが認め支えてくれる」式田さんから「目標を持ち絶対にあきらめない」というメッセージを、それぞれの自分の経験から語ってくれました。

子どもたちは「プロ野球選手になりたい。そのために、練習を一生懸命やりたい」「学校の先生になって、小学生や中学生に英語を教えたい」と思い思いに自分の夢を発表しました。大きく夢を膨らませた子どもたちの瞳は、とても輝いていました。



●子どもたちに経験談を語るマック鈴木さん



●将来の夢について話を聞く式田高義さん



●上手に波を乗りこなす6年生たち



●協力いただいた地元の皆さんと一緒に

赤羽根小学校「ボディボード体験学習」 地元の方とふれあい、地域の自然を知る

7月22日（月）赤羽根漁港東堤防の東海岸で、4～6年生67名が、ボディボード体験学習を行いました。これは、地元漁業協同組合やサーフィン協会の方の協力により行っているもので、10年以上続いている教室です。

当日は快晴の夏空。子どもたちは、初めにサーフィン協会の方から注意事項を受け、いざ体験開始。子ども一人に、一人の大人がサポートして体験を行います。波は弱めでしたが、小学生にとっては充分楽しめる波でした。初体験の4年生は恐る恐るボードを操作していましたが、次第に慣れてくると、とびきりの笑顔で波に乗っていました。体験が3回目となる6年生は、だれが一番長く波に乗れるか夢中になって競争していました。最後に、地元プロサーファーの方の模範演技を見た子どもたちは、その多彩な妙技に歓声をあげていました。

小麦色に日焼けした子どもたちの姿を見て、一段とたくましさを感じた一日でした。



▲おにぎりと一緒に、食生活改善推進員の作ってくれた具だくさんのみそ汁の味は格別(写真は和地市民館)



▲優勝した大野修聖選手の迫力あるカットバック

7月25日(木)

みんなで楽しく
一緒に朝ごはん！

朝ごはんの大切さを知ってもらおうと、**早起きおにぎりキャンペーン**が山田会館と和地市民館で開催され、延べ約100名の親子などが参加しました。ラジオ体操の後、自分で作ったおにぎりを、みんなと一緒においしそうに口に運んでいました。

7月28日(日)

波乗りたちの夏！
世界最高峰の技

プロサーフィン世界大会が7月25日(木)28日(日)に赤羽根大石海岸で開催され、延べ2万6000人の観客が訪れました。世界の強豪選手128名が参加し、熱戦が繰り広げられた結果、国内トップに君臨する大野修聖選手が優勝を飾りました。

頑張れ！**田原っこ**

全国大会などに出場を決めた皆さんをご紹介します。皆さんの活躍に期待します！

◆全日本卓球選手権大会

(兵庫県神戸市「7/26～28」)



◎アシユラ

小川美咲さん(福江小2年)

◎ファンタジスタS.C

山本駿介くん(福江小6年)

◆日本少年野球選手権大会

(大阪府大阪市「8/2～5」)



◎豊川ボーイズ/ドラゴンズ

小林歩豊くん(衣笠小6年)

松井宥磨くん(神戸小6年)

広がる未来へ

たはらエコ・ガーデンシティ構想

86

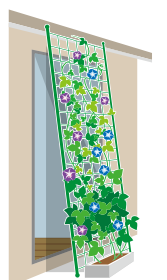
●田原市地球温暖化対策実行計画

田原市では「田原市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定し、温室効果ガス（二酸化炭素）の削減に取り組んでいきます。2022年を目標とし、家庭や事業所などから排出される二酸化炭素の量の削減に努めます。



◆私にできるエコライフってなんだろう

まずは、考えることが第一歩です。小さなことでも、みんなで今日から取り組み地球の未来は変わります。



緑のカーテンで室内気温を下げる。



ゴミを資源・エネルギーとして再利用する。

田原市は、市民一人ひとりが環境に配慮したエコライフを実践するとともに、あらゆる活動を通して地球温暖化対策に努め、環境との共生による豊かで持続するまちづくりを推進していきますので、ご協力をお願いします。

●たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人2047人・事業所85カ所（7月末現在）

▼エコエネ推進課

☎ 23局7401 FAX 23局0180

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>

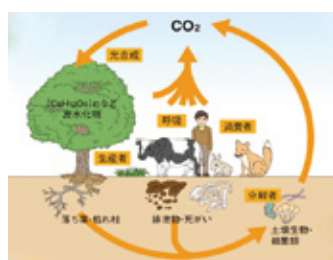
環境戦隊たはらエコレンジャー 環境けいじばん 14



今回は、2010年に名古屋市中で開催されたCOP10（生物多様性条約第10回締約国会議）をきっかけに、テレビのニュースなどで取り上げられるようになった「生物多様性」について紹介します。

◆生物多様性とは？

現在、地球



球上には3000万種もの生きものが暮らしているといわれています。それら互いに食べたり食べられたり、大きな生き物が死ぬと微生物に分解されたりしながら、網の目のように関係しています。生き物それぞれがもっている個性とながりを「生物多様性」といいます。

◆生物多様性と私たちの暮らし

私たちの暮らしは、多様な生態系の恵みによって支えられています。米、野菜、魚、肉などの食料や、

住宅や家具などの材料となっている木材も、すべて農林水産業を通じて生き物からもたらされる恵みです。

◆生物多様性の危機

私たちは人間は、過去数百年の間に桁違いのスピードで、実に多くの生き物を絶滅させてきました。このままの状況が続けば、生態系は回復不可能な状態に達し、私たち人間の暮らしも、維持できなくなってしまうといわれています。

◆生物多様性の保全に向けた取組

今、生物多様性の保全に向けた取組が始まっています。その一つが「生態系ネットワーク」の形成で、開発などにより分断されてしまった生態系を、生き物の中継地となる緑地や水辺を整備することで回復させようとする試みです。

生物多様性を保全・回復するためには、みんながその考え方を理解し協力していくことが大切です。

▼環境衛生課

☎ 23局3541 FAX 23局0180

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>



田原市で農業を学ぶ JICA研修生が田原市を訪問

独立行政法人国際協力機構（JICA）「流域水管理に基づくかんがい排水」コースの研修生が田原市を訪問し、豊川用水と農業について研修を行いました。

●研修の目的

この研修は、開発途上国のかんがい排水分野で活動している若手技術者を対象に行われており、総合的水管理とかんがい排水に関する知識と技術を習得することを目的としたプログラムです。

研修生は、今年3月から9月にかけて日本に滞在し、主に茨城県にあるJICA施設などで研修を受けます。



田原市には、現地研修として8月8日（木）から8月10日（土）までの2泊3日の日程で訪問し、豊川用水の通水により飛躍的に発展

を遂げた農業の優良事例として、かんがい排水施設や農家などの視察を中心とした研修を受けました。

●今回の研修の様子

今回研修生として、アフリカやアジアの7か国から8人が訪問しました。田原市では、JICAの研修生を昭和63年から毎年受け入れており、昨年度までに56カ国から294人の研修生が田原市を訪れています。



田原市では、農協の施設や豊川用水の揚水機場、初立池を視察したり、水田や施設園芸の温室を見学しながら、農家の方の話を聞いたりしました。また、研修期間中は、ホームステイを通じて市民との交流を深めました。

津波、噴火、地震については、現行

◆発表される名称は

「〇〇特別警報」という名称で発表されるのは、気象の6種類です。

◆特別警報の種類は

気象6種類（大雨、暴風、高潮、波浪、大雪、暴風雪）と、津波、噴火、地震があります。特別警報に相当する過去の事例としては、「東日本大震災の大津波」「平成23年台風12号の豪雨」などがあります。

◆特別警報とは

警報の発表基準をはるかに超える豪雨や大津波等が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合に発表し、最大限の警戒を呼びかけます。

気象庁は、8月30日から、重大な災害が起こる可能性が非常に高まっていることをお知らせする「特別警報」の運用を開始します。今回は、その内容についてご紹介します。

みんなできり組む防災・減災
特別警報が始まります

防災知恵袋

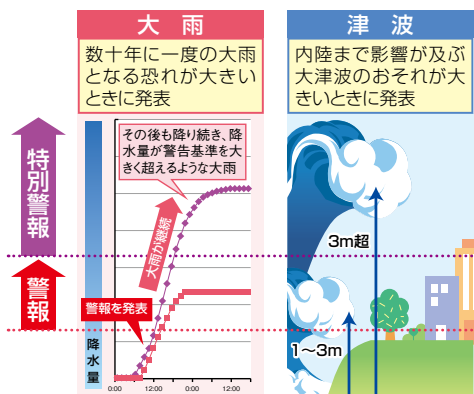
28



▼防災対策課 ☎23局3548

数十年前に一度しかないような非常に危険な状況です。ただちに命を守るための行動をとり、身を守るために最善を尽くしてください。

◆特別警報が発表されたら



▲参考：気象庁ホームページ

の警報のうち危険度が非常に高いレベルのものを特別警報に位置付けるので、名称の変更はありません。

◆特別警報と警報・注意報との関係は
警報や注意報は、これまでどおり発表されます。



募集

WANTED

田原市立小・中学校 常勤・非常勤講師

▼応募資格＝次の要件をいずれも満たす方①子どもが好きで学校教育に熱心に取り組むことができる方②教員免許所持者（採用時に取得見込みの方も可）▼受付期間＝随時（市役所執務時間中）▼申し込み＝市販の履歴書に顔写真を貼り、必要事項を記入し、教員免許を所持している方はコピーを添えて、直接または郵送にて



▼学校教育課
〒441-3492 住所不要
☎23局3679 FAX22局3811

田原市臨時職員 （図書館業務）

▼募集人員＝1名 ▼採用期間＝9月1日～平成26年2月28日 ▼勤務場所＝中央図書館 ▼勤務内容＝図書館業務全般 ▼勤務形態＝火～金曜日および土曜日または日曜日、祝日／午前8時30分～午後5時15分（不規則勤務あり）▼賃金＝時給830円
▼選考方法＝面接（詳細は後日通知）▼申し込み＝8月21日（水）までに、中央・赤羽根・渥美図書館にある申込用紙に必要事項を記入のうえ中央図書館「般カウター」へ提出
▼中央図書館
☎23局4946 FAX23局4646

「ラジオ深夜便のびろろ田原市」公開録音 観覧者

田原市の市制施行10周年を記念して、「ラジオ深夜便のびろろ」の公開録音を行います。
▼日時＝10月5日（土）午後1時30分～4時（予定）（午後1時開場）▼場所＝渥美文化会館文化ホール
▼内容＝【第一部】明日へのことば

講演会【第二部】アンカーを囲むつどい ▼出演＝【第一部】講師・未定【第二部】アンカー：遠藤ふさ子・松本一路 ▼入場料＝無料（整理券必要／1枚につき2名まで／満1歳以上から整理券必要）▼放送予定＝

「ラジオ第1全国」10月25日（金）午後11時20分～26日午前5時【FM全国】10月26日（土）午前1時～午前5時 ▼申込み＝9月17日（火）までに郵便往復はがき（締切日必着）にて／【往信表面】（宛先）〒461-8725 NHK名古屋放送局「深夜便のびろろ」係／【往信裏面】郵便番号・住所・名前・電話番号／【返信表面】郵便番号・住所・名前／【返信裏面】未記入 ▼その他＝申し込みで得た個人情報、抽選結果のご連絡のほか、受信料のお願いに使用する場合があります。詳細は決まり次第ホームページでお知らせします。

▼NHKプラネット中部

☎（052）952局7381

HP <http://www.nhk.or.jp/nagoya/>

第9回渥美半島ぐる輪サイクリング

▼日時＝10月20日（日）午前7時～午後4時 ▼場所＝白谷海浜公園（スタート・ゴール地点）

▼コース＝A蔵王山登頂&渥美半島一周コース約90km（中学生以上）／B渥美半島一周コース約60km（小学生以上）／Cファミリーコース約30km（小学生以上） ▼定員＝1800名 ▼参加料＝中学生以上3000円、小学生2000円（傷害保険含む） ▼申し込み＝9月2日（月）～9日（月）の期間に、大会事務局へ。申し込み要項は大会事務局および生涯学習課に設置



▼その他＝ゴール後には、地元のは、有志による特製豚汁やおにぎりなどの振る舞いあり／大会当日は、沿道での自転車通行数が増加し、ご迷惑をおかけしますが、ご理解をお願いします。

▼主催＝愛知県サイクリング協会 ▼渥美半島ぐる輪サイクリング事務局（愛知県名古屋北区新沼町150）

☎（052）909局6201

HP <http://www.fukaya-sangyo.co.jp/>

生活

愛知県防災航空隊ヘリコプターとの合同訓練

9月6日（金）9時～正午頃まで赤羽根文化広場付近で消防署と愛知県防災航空隊ヘリコプターとの合同訓練を行います。

当日は安全のため一時的に周辺道路の通行制限を行いますので、ご協力をお願いします。（荒天・災害出動等の場合は中止）

▼消防署赤羽根分署
☎45局4119 FAX45局4120

きゅうきゅう広場を開催します

9月9日は「救急の日」です。また、この日を含む1週間は「救急医療週間」と定められています。

これに合わせて、「きゅうきゅう広場」を開催します。この機会に应急演练



を体験してみませんか。申し込みは不要です。お気軽にお越しください。

▼日時＝9月8日（日）午前10時～正午 ▼場所＝サンテパルク（1階中央広場） ▼内容＝消防職員による心肺蘇生法デモンストレーション、訓練人形を使用した胸骨圧迫AEDの体験（体験者には記念品を差し上げます）、救急車展示説明

▼消防署
☎23局4075 FAX23局2440

防災行政無線を用いた全国一斉の緊急情報の伝達訓練

田原市では、地震・津波や武力攻撃などの災害時に、全国瞬時警報システム（※Jアラート）から送られてくる国からの緊急情報を確実に皆様へお伝えするため、情報伝達訓練を行います。

田原市では、市内に設置されている防災行政無線から次の内容を一斉に放送します。

▼日時＝9月11日（水）午前11時ごろ、11時30分ごろ ▼放送内容＝「これは、試験放送です」×3＋「こちらは、広報たはらです」＋チャイム（終了） ▼その他＝田原市以外の地域でも、全国的にさまざまな手

段で情報伝達訓練が実施されます。

※Jアラートとは、地震・津波や武力攻撃などの緊急情報を、国から市区町村へ、人工衛星などを通じて瞬時にお伝えするシステムです。

▼防災対策課
☎23局3548 FAX23局0180

8月16日は「野菜の日」

「夏の元気は野菜から！旬の野菜を美味しく食べて心も体も健康に」

「831」の語呂合わせから、全国青果物商業協同組合連合会をはじめ9団体の関係組合が、昭和58年に制定した記念日です。

夏野菜はビタミンやミネラル、食物繊維などが豊富に含まれており、暑い夏を元気に過ごすために欠かせない食材です。地元で取れる新鮮でおいしい夏野菜を積極的に食べて、水分補給・クールダウンを心がけましょう。

▼農政課
☎23局3517 FAX22局3817

全国斉高齢者・障害者の人権あんしん相談強化週間

虐待など、高齢者・障害者の人権にかかわる悩みごと、心配ごとなど

の相談に応じます。相談内容の秘密は固く守られますので、ひとりで悩まず、お気軽にご相談ください。

▼日時＝9月9日（月）～15日（日）午前8時30分～午後7時（土・日曜日は午前10時～午後5時） ▼相談担当者＝人権擁護委員

◆相談専用電話

☎(0570)003局110

▼名古屋法務局人権擁護部
☎(052)952局8111

9月10日は「下水道の日」 下水道を正しく使いまじょう

■下水道接続にご協力を！

下水道は、私たちの家庭などから出る生活排水をきれいにして川や海に戻し、快適な生活環境をつくるとともに、海や川を汚染から守るための施設です。下水道を使える区域でまだ接続をしていない方は、接続にご協力ください。

■異物を流さないで！

下水道施設へ異物が流入すると、故障の原因になり、適切な污水处理ができなくなります。水洗便器に、トイレットペーパー以外のものを流さないようにしましょう。

▼下水道課

☎23局3525 FAX22局3184

歴史探訪

クラブ! 其の149

History Inquiry Club

文化財課 ☎23局3635
FAX 22局3811

田戸神社の気になるもの

小中山町にある歴史遺産は、戦争遺跡の陸軍技術研究所伊良湖試験場が有名です。この試験場の入り口と並んで、田戸神社があります。六所神社とともに、10月に「かあか祭り」が行われる神社です。また、「いほ」取り祈願の由緒ある神社でもあります。

この神社の参道には、木製の鳥居がなんと80mも続いています。この鳥居には、奉納年月日や奉納者の名前が墨書きされています。木製の鳥居が立ち並ぶ参道の空間は、これか



▲酒井孫兵衛の狛犬

も良いものです。台座には昭和4年6月の奉納者の名前と、狛犬を彫った石工の名前「酒井孫兵衛」が記されています。酒

しい狛犬から、たてがみのある、雄雄しく筋骨隆々の狛犬の作風を築いています。

田戸神社で気になるもうひとつは参道入り口付近の灯籠です。セメントで作られ、表面を石洗い出しており、明治終わりから昭和初期には、セメントこそ最新・最強の素材とされていましたので、当時としてはしゃれた灯籠だったのでしょう。

どちらも同じ昭和4年のもの。かたや伝統的な花崗岩で作られた近代的な作風の作品、かたや最新の素材で作られた伝統的な造形。この対比が面白いですね。

(増山)

ら神に祈りを捧げるための心を整えるのには充分な距離と雰囲気です。そして、鳥居を抜けると拝殿が見えてきます。切妻屋根の質素な造りは古い様子を伝え、この神々しさに、思わず頭を下げ、手を合わせてしていました。

この神社で気になるものがふたつ。ひとつは花崗岩製の狛犬です。神社の拝殿前に、阿吽

の呼吸の語源となった「口を開いたもの」「閉じたもの」が一对

となっています。ここの狛犬は、顔も胴体の彫り



▲セメント製の灯籠

井孫兵衛は、江戸時代から、岡崎に8代続いた狛犬製作の石工で、年号から7代目の作品と思われます。

酒井孫兵衛作の狛犬は、市内には畠神社にもあります。こちらは正徳8年9月の銘があり、先代の孫兵衛の作品と思われます。6代目の孫兵衛は、これまでのふくらとしたかわいら

今月の「表紙」

▼暑さをしのぐ方法はいろいろありますが、避暑地を求めてお出かけしてみるのは健康の一つです。森の中の木陰はとて涼しく感じます。木々の合間から差し込む木漏れ日にも涼しさがあり、なぜかぬくもりを感じます。まだまだ暑い日が続くような今年の夏。外出の際は、こまめに水分補給をし、熱中症などにはくれぐれも注意しましょう。(一)

【表紙の写真】赤羽根文化の森